

平成29年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：土地水政策課
 担当名：水源地域対策担当
 内線：2197

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B32	雨水等活用施設設置促進事業費		一般会計	総務費	企画費	企画調整費	水資源確保対策費	
事業期間	平成29年度～平成33年度	根拠法令	水循環基本法、雨水の利用の推進に関する法律			宣言項目		
					分野施策	020414 安全な水の安定供給と健全な水循環の推進		
1 事業概要			5 事業説明					
水の安定供給と限りある水資源の有効活用のため、県、市町村をあげて雨水等の活用を促進する体制を構築し、健全な水循環の推進を図る。 (1) 雨水等活用施設設置費助成事業 △8,217千円 助成実績等に伴う減 (2) 雨水等活用施設設置促進事業 △129千円 経費節減に伴う減			(1) 事業内容 雨水等活用の一層の促進のため、既存の市町村施設に雨水等活用施設を設置する経費の一部を助成するとともに、雨水等活用施設設置促進のための事業を実施する。 ア 雨水等活用施設設置費助成事業 10,203千円 市町村における雨水等の活用を一層促進するため、市町村のモデル施設に雨水等活用施設を設置する経費の一部を助成する。 イ 雨水等活用施設設置促進事業 3,059千円 大規模な雨水等活用施設の設置促進のため、先進事例の調査分析を実施のうえ事例集等を作成し、新規立地企業等への設置啓発を行う。 また、一般家庭及び事業所等への啓発のため、啓発チラシの作成、配布を行う。 (2) 事業計画 ア 平成29年度 市町村にモデル施設を整備することで、今後の施設整備における雨水等活用を促進するため、市町村への助成を開始するとともに、大規模な活用施設の調査分析と情報提供を進める。 イ 平成30年度～ 市町村への助成を継続するとともに、雨水等活用施設の設置を促進する。 (3) 事業効果 雨水等活用施設の設置が促進され、貴重な水資源である雨水等の活用が図られる。水資源の有効利用のほか、内水被害の軽減や災害時の緊急水確保が図られる。また、資源の有効活用について県民意識の向上が図られる。 (4) 県民、民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 県民による雨水タンクの設置や大規模事業所での雨水等活用施設の設置により施策目的が達成される。 (5) 補正予算の概要 助成実績が計画を下回ったこと及び経費節減による減額					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.5人=4,750千円								
予算額			財 源 内 訳				一般財源	補正後の 予算額
決定額	△8,346						△8,346	4,916
現計額	13,262						13,262	